

Geeko Magazine

Vol. **7**
OSC 2013
Tokyo/Fall

openSUSE 13.1 11 月リリース予定!

Ruby に書き換えられた新しい YaST も搭載

Raspberry Pi で openSUSE が動いた



「Open Source Un-Conference 川越にいったよ」



発行：日本 openSUSE ユーザ会



openSUSE 13.1 11 月リ

Rubyに書き換え

11月19日に openSUSE 13.1 がリリースされる予定です。openSUSE は 8 ヶ月毎にリリースされており、12.3 以降に更新された多くのアプリケーションを搭載しています。ところで、13.0 というバージョンが無いことに疑問を持つ方もいるのではないのでしょうか？ openSUSE ではメジャーアップデートという考え方を無くすため、12.1→12.2→12.3→13.1 のように、右側の数字の 3 になったら、次は左側の数字を 1 つ増やして、右側を 1 に戻すというルールを採用しています。

Ruby に書き換えられた新しい YaST

openSUSE には欠かせないシステム設定ツールの YaST は、実は YCP とよばれる独自の言語で実装されていました。YCP はあまり高機能ではなく、例えばオブジェクト指向のような現在ではあたり前のような言語機構を持っていません。また言語の開発者も他のプロジェクトに移ってしまい、言語の機能拡張も期待できない状態でした。さらに、YCP という言語が敷居となり、YaST の開発者も不足がちになっていました。

そこで、YaST を Ruby に書き換えるというプロジェクトが始動し、openSUSE の開発の裏側で進められていました。Ruby が採用された背景には、WebYaST や Open Build Service、SUSE Studio の開発にも Ruby が使われているという理由があります。60 万行近くの YCP コードの書き換えは手作業ではなく、このために開発された YCP から Ruby へのソースコード変換器が使用されました。

最新のバージョンで追加された新しい機能はありませんが、Ruby になったことにより、今後の機能追加や既存の機能の刷新が期待されます。

GNOME 3.10

13.1 では GNOME が 3.10 になり、荒削りだった GNOME 3 も落ち着いてきました。IBus (日本語等の入力) の GNOME への統合もほぼ完了し、GNOME 上での日本語入力がスムーズにできるようになりました。GNOME クラシックモードも利用できるようになっています。

長期サポート

13.1 は Evergreen プロジェクトと呼ばれる有志により、長期サポートが予定されています。1 つ前の長期サポートは 12.1 の 1 つ前の 11.4 でした。18 ヶ月間の公式のサポート終了後に長期サポートが開始され、合計 3 年間のサポート (パッチの提供など) が行われる予定です。



リリース予定！

られた新しい YaST も搭載

Raspberry Pi で openSUSE が動いた

\$35 という低価格で買える教育用コンピュータボード、Raspberry Pi が人気を集めています。先日、Raspberry Pi 用の新しい openSUSE 12.3 のディスクイメージが公開されました。IRC の FreeNode、#tokaidolug チャンネルで早速 openSUSE の動作報告がありました（写真は佐藤 誠さん提供）。

このイメージ入手方法と起動までの手順は以下のページに書かれています：

http://en.opensuse.org/HCL:Raspberry_Pi

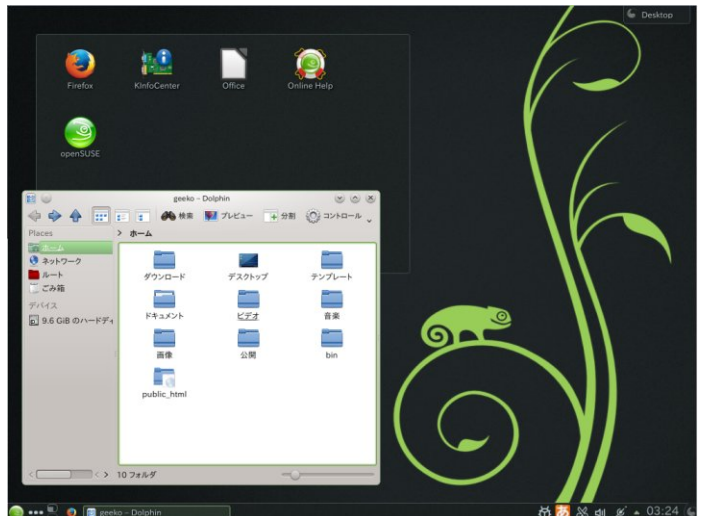
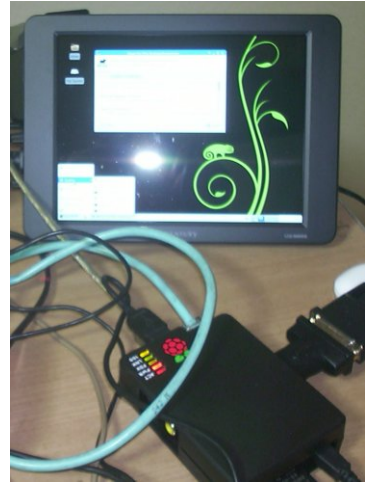
手順は簡単です：

1. イメージをダウンロード
2. イメージを解凍して SD カードへ書き込み
3. SD カードを Raspberry Pi に挿して起動

一度起動すれば、お好みのデスクトップ環境をインストールできます。また、日本語化の手順は通常の openSUSE と同じで、まず YaST を次のようにインストールし：

```
$ sudo zypper install -t pattern yast2_basis
```

その後、YaST を起動し、言語を日本語に設定して下さい。自動的に日本語関連のパッケージがインストールされます。



openSUSE 初心者の館



Q1: openSUSE ってな〜に? なんて読むの?

Linux ディストリビューションの1つで、Windows や Mac と同じ OS の1つです。オープンソースと読みます。SUSE はドイツ語で Software und System Entwicklung の略です。

Q2: 他のディストリビューションと比較して、どのような特徴があるの?

最大の魅力は、統合管理ツール YaST (やすと) です。インストール、パッケージ管理、ハードウェアやサーバーの設定・管理と幅広くサポートしています。とても使いやすく、初心者からベテランまでおすすめです。

openSUSE を支える仕組みとして Open Build Service (OBS) と SUSE Studio があります。OBS は開発者にクラウド上のパッケージの開発環境と公開する場を提供します。ユーザは OBS 上の様々なパッケージ (の最新版) を見つけ、1 クリックでインストールすることができます。

SUSE Studio を使うと GUI 操作でインストール済みのディスクイメージを作成したり、オリジナルの Live DVD を作成することができます。

Open Build Service: <http://build.opensuse.org/>

パッケージの検索: <http://software.opensuse.org/search>

SUSE Studio: <http://susestudio.com/>

Q3: マスコットのカメレオンの名前は?

Geeko (ぎーこ) といいます。geek (コンピュータおたく) + gecko (やもり) とかけたのが由来です。

Q4: SUSE Linux Enterprise (SLE) との違いは?

openSUSE では最新の技術を取り込みながら、その成果を SLE のベースとして提供する役割を担っています。ベンダーサポートやセキュリティパッチはコミュニティによって提供されています。

openSUSE 日本語コミュニティ

opensuse-ja メーリングリスト - 質問などはここが一番!

参加方法 opensuse-ja+subscribe@opensuse.org 宛に空メールを受信したいメールアドレスから送る。メールアドレスの確認が返ってくるのでそのまま返信する。

過去のメールは Web ブラウザから読むことができます: <http://lists.opensuse.org/opensuse-ja/>

日本 openSUSE ユーザ会勉強会

不定期に都内で行っているアットホームな勉強会です。

IRC openSUSE 定例

毎週土曜日 10 時から FreeNode の #opensuse-ja チャンネルに集まりチャットをしています。

Twitter: @opensuseja から openSUSE ユーザを見つけられます

Facebook: <http://www.facebook.com/opensuseja>

日本語フォーラム: <http://forums.opensuse.org/japanese/>

2ちゃんねる Linux 板の SUSE Linux スレッド

お問い合わせ先

日本 openSUSE ユーザ会: <http://opensuse.geeko.jp/>
openSUSE公式サイト: <http://ja.opensuse.org/>